

# カトリック 新潟教区報



## 新潟教区合同洗礼志願式と 助祭・司祭志願者認定式

### 助祭・司祭志願者認定式

2018年2月18日四旬節第1主日、新潟カテドラルにおいて菊地大司教主司式により新潟教区合同洗礼志願式と助祭・司祭志願者認定式が行われた。

今年の洗礼志願者は新潟教会から6名、花園教会1名、十日町教会1名の合計8名。助祭・司祭志願者は岡秀太神学生1名であった。

菊地大司教は説教において「洗礼の準備や信仰生活は、常に自分の足りないところを問い続ける人生である」と、オリンピック選手選手の金メダルを目指す、努力と苦しみのトレーニングに例え、説かれた。

また、「四旬節を迎えているこの時期は洗礼を受けようとしている人も、すでに洗礼を受けている人も



大司教様と志願者の皆さん

「自分がどう生きるべきか」「キリストに従うとはどういうことか」など、自分を見つめ直す重要な意味を持つている」と呼びかけられ、さらに、洗礼志願者を合同で行う意味について「信仰は自分一人だけの内面的な面だけでなく、共同体のみんなと、体で、目で、感覚で感じ支えあい、一緒に行うことに大きな意味がある」と諭された。



岡 秀太神学生

説教後、引き続き助祭・司祭志願者認定式が行われ、2年間の哲学の過程を終えた岡神学生は、これから4年間の神学の過程に進むことになった。この段階で正式に助祭・司祭志願者として新潟教区から認定されることになったと説明があった。式中、岡神学生から「わたしは自分の召命について振り返り、神に祈り、熟考し、霊的同伴司祭と相談し、わたしの全くの自由意思により新潟教区の助祭・司祭としての認定を望みます」と力強い決意表明があった。

## 司祭人事

( )内はこれまでの任務等  
2018年4月1日付

### 《秋田地区》

- ▼ ビジュー・アウグスティン・キシヤケール師 土崎教会主任 (名古屋教区長浦教会主任) 〓 神言修道会
- ▼ プラフル・クジュール師 大館教会・鹿角教会主任 (大館教会助任) 〓 神言修道会
- ▼ 伴 八郎師 秋田教会助任 (鶴岡教会・酒田教会主任) 〓 神言修道会

### 《山形地区》

- ▼ 楊 成源師 鶴岡教会・酒田教会主任 (名古屋教区南山教会助任) 〓 神言修道会

### 《新発田地区》

- ▼ 田中丈夫師 見附教会・栃尾教会主任 (長岡教会協力) 〓 仙台教区
- ▼ エデルベルトウス・ナジ師 見附教会協力 (見附教会・栃尾教会小

### 教区管理者

### 《長岡地区》

- ▼ エデルベルトウス・ナジ師 長岡教会協力・見附教会協力兼任 (見附教会・栃尾教会小教区管理者) 〓 神言修道会

### 《教区外への転出》

- ▼ 飯野耕太郎師 (土崎教会主任) 〓 神言修道会
- ▼ 岡崎才蔵師 (大館教会・鹿角教会主任) 〓 神言修道会
- ▼ ホー・シヨウフェン師 (秋田教会助任) 〓 神言修道会

2018年4月17日付

- ▼ 田中丈夫師 仙台教区から新潟教区に移籍

2018年6月1日付

- ▼ ラディティア・クルニアデー師 大館教会・鹿角教会助任 (日本語研修) 〓 神言修道会

◎プログラムが最終決定しましたのでお知らせいたします。  
秋田地区信徒役員会より



## 2018年新潟教区大会について

- 2018年新潟教区大会  
日時 2018年9月29日(土)～30日(日)  
会場 ホテルサンルーラル大潟  
〒010-0441 秋田県南秋田郡大潟村北1-3  
Tel 0185-45-3332  
※特急いなほで秋田駅に到着する方は、ホテルより送迎バスが出ます。  
テーマ 「愛のよろこび」  
参加費 10,000円(宿泊なし7,000円)(日曜日のみ1,000円)
- プログラム 日程  
29日(土) 14:40～ 受付  
15:15～ 開会セレモニー、基調講演 菊地大司教様  
16:30～ 小グループによる分かち合い  
18:00～ 親睦交流会  
(昼部屋・テーブル椅子部屋確認)  
30日(日) 7:30～ 朝食(バイキング)  
9:30～ 体験発表(4名)  
10:30～ 感謝の派遣ミサ  
11:30～ 閉会セレモニー、教区総会解散
- 案内発送 6月10日から発送予定  
締切は8月10日(金)予定  
カトリック秋田教会  
藤本文雄

地区便り

新潟地区  
日本カトリック女性団体連盟  
第44回 新潟総会を開催して

聖母月にふさわしい青空のもと、5月21日(月)、22日(火)の二日間、日本カトリック女性団体連盟 第44回 新潟総会を開催しました。昨年の2月に日力連会長から「新潟で菊地司教様から『いのちへのまなざし』についてご講演いただきたい」とお話を頂き、「いつも私たちが菊地司教様から頂いている福音宣教への勇氣と希望を全国の皆さまにもお伝えしたい」、「全国の女性の会の祈りと活動を新潟の皆さまにお伝えできるなら」とお引き受けし、準備を進めてきました。途中、菊地司教様が東京大司教様になられるという大きなできごとがありました。「菊地大司教様が新潟に戻って来られたときに新潟の女性の頑張っているお姿をお見せしよう」と全ては神さまの御手の中にと信じて役員一同頑張ってきました。徐々に協力してく



ださる人が増え、全国各地からも励ましのメールなどを頂戴し、「私たちはキリストにおいて一つ」という実感を持つことができました。一日目の総会も無事終了し、懇親会では菊地大司教様まで仮装して踊られたり、山形教会の千原 通明神父様のギター演奏で菊地大司教様ご自身で作詞作曲された「主と共に」をお歌いになったりと楽しいひとときを過ごしました。

二日目の菊地大司教様の講演会では「なぜ教会は人を助けるのか」という私たちキリスト者の至上命題についてお話を伺いました。その後、菊地大司教様主司式、日力連顧問の浜口 末男司教様(大分教区)と9名の司祭団による派遣ミサが行われ、私たちはまた再び自分の生活の場へ派遣されました。ミサの中で今回の開催地名古屋の女性の会へ日力連のペナントを引き継ぎました。この総会では160名余の方が参加してください、その中には山形教会からの3名の信徒の方もいらっしゃいました。終了後には日力連会長をはじめ全国の参加者から「素敵な教会でお祈りができて嬉しかった」、「新潟の方の笑顔、おもてなしが素晴らしいかった」、「新潟からたくさんの方々が参加してくださって有難かった」などたくさんメッセージを頂戴しました。神さまのはからい、聖霊の導き、イエスさまとマリアさまが私たちと共にいてくださったこと、そして多くの方のお力添えに感謝しております。そして、すべてのいのちが尊ばれますように。

長岡地区  
長岡地区信徒養成講座に参加して  
長岡教会 西山 清

2018年2月25日、長岡教会に於いて、「イエスは『水を飲ませて下さい』と、言われた」をテーマに養成講座が行われました。講師はオリビエ・シエガレ神父で(洪川教会パリ外国宣教会)、来日50年の日本語がとても達者な神父様でした。

当日は、9時30分からミサで始まり、午前中はシエガレ神父の挨拶「パリ外国宣教会は『歩く宣教会』と言われる30キロ以内は自転車や町村を巡り宣教している」等話された。その後、グループに分かれ、自己紹介や、各教会の状況について分かち合い、お互いの親近感を深めた。



午後の講話で、イエスがサマリヤの女に「水を飲ませて下さい」と言った。さらに、「この水を飲むものは、また渇く、しかし、私がお与える水を飲む者は決して渇かない。その水はその人の内で泉となり、永遠

の命に至る水が湧き出る」と。サマリヤの女は言った。「主よ、渇くことのないように、ここに汲みに来なくてもいいように、その水を下さい」との講話の話をもとにグループで、イエスの本当の「渇く」とはどう理解すればいいのか等を、真剣に分かち合いました。

シエガレ神父は、「誰もが、こんこんと湧き出る泉のよう、人の渇きを癒す力を持っている。この心の中の泉に気づき、湧き出でる状態にし、他の人の心に隠れている泉を気付かせて上げることが大切」と言われた。最後に、真壁長岡教会主任司祭の祝福を頂き、記念撮影をして地区信徒養成講座を終了しました。

合同堅信式のお知らせ

11月11日(日)年間第32主日、新潟教会の9時半のミサにおいて、菊地功大司教様の司式で堅信式が行われます。司教座空位により今年度は各小教区での堅信が困難なため合同の堅信式となります。地理的な条件から新潟市周辺の小教区に所属する信徒が中心になるかと思いますが、他地区の信徒も申し込むことができます。詳しい申込方法は後ほど小教区にお知らせしますので、主任司祭を通してお申し込みください。

問い合わせ先：新潟教区本部 事務局長 大瀧浩一

北山原53名殉教者  
列福10周年記念ミサと  
十字架行列

列福十周年米沢殉教祭の記念事業として計画された各行事も滞りなく行われ、いよいよ7月1日の記念ミサを待つばかりとなりました。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

1. 十字架行列

日時：7月1日(日) 10:00~  
場所：カトリック米沢教会から北山原殉教地まで

2. 北山原53殉教者列福記念ミサ

司式：菊地功大司教  
日時：7月1日(日) 11:00  
場所：北山原殉教地(山形県米沢市金池6-3)



# 新潟教区 二〇一七年度 決算報告

二〇一七年度の小教区会計並びに教区本部会計に付きましては、顧問会、司祭代表者会議に報告すると共に、責任役員会で承認されましたので報告させていただきます。

## 小教区会計の収支状況

小教区会計の収支状況は、各小教区から決算報告を頂き、これを合算集計したものです。

一般会計では、収入合計額から支出合計額を差引いた収支残高は1,395万円の黒字で経常収支残高も2,475万円の黒字になり、いずれも前年度比、改善(増加)しております。

増加要因は献金収入が増加した事と遺贈寄付金があった事に加え、今年度は大口建物の改修工事がなかった事によるものです。

年度末の一般会計預貯金資産残高(次期繰越金)は前年度比1,395万円増加となり1億120万円になっています。また特別会計(建物の改修・補修等)の預貯金資産残高(次期繰越金)は前年度比2,827万円増加し3億3,571万円になっています。

## 教区本部会計の収支状況

一般会計の収支残高は345万円の黒字となっていますが、司祭人件費等の収支残高と一粒会収支額を特別会計に振替後、実質収支残高は84万円の黒字となりました。最終の収支残高は、前年比358万円の減少ですが、要因は前年度土地売却収入が340万円有ったためです。

教区の財政は信徒の皆様のご協力により、最終収支残高はここ5年間黒字が続いております。皆様のご理解とご協力により、最終収支残高はここ5年間黒字が続いておりますが、信徒・司祭の高齢化や経済情勢から今後厳しい財政が続くものと思われまます。財政基盤の確立に向けて顧問会、司祭代表者会議や経済問題諮問委員会で話し合い、検討を行っておりますが、具体的な対策が見出せない状況です。引き続き検討をしておりますが、主任司祭をはじめ、信徒の皆様のご協力をお願い致します。

なお特別会計で処理しております「一粒会会計」、「建設・共済基金会計」、「指定献金・特別献金集計表」は別紙のとおりです。

(教区事務局長 大瀧浩一)

### 2017年度 教区本部一般会計収支決算書

2017年1月1日～12月31日  
(金額単位1,000円)

項目	2017年度決算	2016年度決算	前年度増減額
負担金収入	21,944	22,640	-696
教区負担金(教区維持費)	10,241	10,612	-371
司祭活動負担金	5,900	6,099	-199
一粒会負担金	4,123	4,249	-126
学校法人・修道会負担金	1,680	1,680	0
寄付金収入	23,431	25,036	-1,605
司祭寄付金	19,048	19,708	-660
一般・特別寄付金	4,383	5,328	-945
献金収入	1,600	3,216	-1,616
その他の収入	482	3,934	-3,452
収入合計	47,457	54,826	-7,369
宗教活動費	7,974	9,803	-1,829
神学生養成費	3,891	4,287	-396
祭儀費、寄付金等	4,083	5,516	-1,433
事務運営費	6,055	6,717	-662
人件費	28,946	27,469	1,477
司祭給料	19,223	17,716	1,507
職員人件費	4,800	5,150	-350
法定福利費	3,146	2,896	250
その他	1,777	1,707	70
司教館建設費			0
その他の支出	1,031	1,711	-680
支出合計	44,006	45,700	-1,694
① 収支差額	3,451	9,126	-5,675
＜ 司祭寄付金等と司祭人件費 ＞			
司祭寄付金・司祭活動負担金	24,949	25,807	-858
司祭人件費(含法定福利費)	22,570	21,016	1,554
② 司祭人件費等収支額	2,379	4,791	-2,412
＜ 一粒会負担金と神学生養成費 ＞			
一粒会負担金等	4,123	4,248	-125
神学生養成費	3,823	4,223	-400
地区練成会等補助	69	114	-45
③ 一粒会収支額	231	-89	320

実質収支額(①-②-③)	841	4,424	-3,583
--------------	-----	-------	--------

### 2017年度 小教区一般会計収支決算書

2017年1月1日～12月31日  
(金額単位1,000円)

項目	2017年度決算	2016年度決算	前年度増減額
献金収入	83,089	81,133	1,956
教会維持費収入	44,381	43,790	591
ミサ献金収入	21,560	21,502	58
一般・臨時献金収入	6,139	6,389	-250
祭儀献金収入	5,346	5,710	-364
司祭活動献金収入	5,663	3,742	1,921
指定献金収入	5,465	4,950	515
一粒会献金収入	4,216	4,096	120
寄付金収入	36,036	29,361	6,675
事業収入	133	1,200	-1,067
その他の経常収入	2,430	5,117	-2,687
経常収入計	131,369	125,857	5,512
財務収入	12,986	19,196	-6,210
収入合計	144,355	145,053	-698
宗教活動費	44,636	47,323	-2,687
指定献金支出	5,409	4,694	715
一粒会献金支出	4,170	4,074	96
事務運営費	30,326	30,908	-582
人件費	4,660	6,202	-1,542
維持管理費	17,246	33,902	-16,656
事業支出	0	281	-281
その他の経常支出	177	1,214	-1,037
経常支出計	106,624	128,598	-21,974
財務支出	23,776	23,738	38
支出合計	130,400	152,336	-21,936
収支差額	13,955	-7,283	21,238
次期繰越金	101,198	87,243	13,955

特別会計次期繰越金	2017年度決算時	2016年度決算時
建設・補修等積立金	271,051	256,636
その他の積立金	64,661	50,801
繰越金総合計	436,910	394,680

2017年度 一粒会会計収支状況

(金額単位円：1,000円)

項 目	2017年度	2016年度
前年度繰越残高	42,612	42,018
一粒会費収入額	4,123	4,249
神学生のための特別献金	-	-
収入額計 ①	4,123	4,249
神学生養成費	3,822	4,223
錬成会等補助	69	114
支出額計 ②	3,891	4,337
収支残高 ① - ②	232	-88
宣教地召命推進の日献金教区組入額	256	287
資金運用利息	1,035	395
次年度繰越残高	44,135	42,612

2017年度 指定献金・特別献金集計表

(金額単位円：1,000円)

項 目	2017年度	2016年度
世界こども助け合いの日献金(児童福祉の日)	935	795
教区青少年の日献金	312	334
聖地のための献金	262	239
四旬節愛の献金	1,374	1,158
世界広報の日献金	320	307
聖ペトロ使徒座への献金	302	347
世界難民移住移動者の日献金	459	378
世界宣教の日献金	300	332
宣教地召命促進の日献金(宣教地司祭育成)	356	387
糸魚川大規模火災支援	1,454	110
その他の献金	-	63
合 計	6,074	4,450

2017年度 建設・共済基金収支決算書

(金額単位1,000円)

支 出 の 部			収 入 の 部		
科 目	2017年度決算	2016年度決算	科 目	2017年度決算	2016年度決算
会議費		91	小教区負担金	1,748	1,838
旅費交通費			貸付金利息	450	92
事務委託費	150	150	受取利息	1	12
支払手数料	2	1	配当・分配金	638	781
国債償却			国債振替益	340	
経 常 支 出 計	152	242	経 常 収 入 計	3,177	2,723
当 期 末 貸 付 金 残 高	70,847	77,241	前 期 末 貸 付 金 残 高	77,242	64,621
当 期 末 現 金 預 金 残 高	113,658	104,238	前 期 末 現 金 預 金 残 高	104,238	114,377
合 計	184,657	181,721	合 計	184,657	181,721

2017年

教会名	信徒数	洗 礼		堅 信	結 婚 <sup>注1</sup>	求 道 者
		幼 児	成 人			
1 新 潟	748	2	9	9	1	6
2 花 園	312		2	2		
3 青 山	242	1	1		2	
4 寺 尾	157	1	2		1	2
5 鳥 屋 野	60					
6 亀 田	78		1			
7 白 根	16		1			
8 佐 渡	62					
新潟地区計	1,675	4	16	11	4	8
11 新 発 田(村上)	278	2	1	5	2	1
12 新 津(村松)	154				2	
15 加 茂	41					
16 三 条	131		1	1		
17 見 附	133	1			1	1
18 栃 尾	20					
新発田地区計	757	3	2	6	5	2
21 長 岡	396	1	3			4
23 柏 崎	395	1	7		1	10
24 直 江 津	127					
25 糸 魚 川	163	1				
26 十 日 町	120					1
27 高 田(妙高)	850	4	6	6	1	4
長岡地区計	2,051	7	16	6	2	19
新潟県合計	4,483	14	34	23	11	29
31 山 形(新庄)	618	7	4	8	4	3
32 酒 田	45			1		2
33 米 沢(長井)	128	1	2	2		
34 鶴 岡	200	2	3	4		1
山形地区計	991	10	9	15	4	6
41 <sup>注2</sup> 秋 田	1,040	3	3	2		2
42 土 崎	368		4	2	2	2
43 鹿 角	26					1
44 大 館	67					
45 横 手(上宿)	183					
46 能 代	47	1		2		
47 本 荘	54					
秋田地区計	1,785	4	7	6	2	5
新潟教区計	7,259	28	50	44	17	40
教 役 者 ・ 信 徒						
信 者 総 数	7,364					

注1. 結婚：信者同士、信者と他キリ、信者と非キリのみ。  
注2. 秋田教会には、聖体奉仕会シスターの人数(21名)が含まれています。

新潟司教区統計

(2017年12月31日現在)

1. 概 況

(教区人口比：0.1688%)

面 積 …………… 33,544.82km<sup>2</sup> 信者総数 …………… 7,364人  
人 口 …………… 4,362,953人 求 道 者 …………… 41人

2. 人 員 構 成

司 教 …………… - 聖霊奉侍布教修道女会 邦人 …… 4  
教区司祭 邦人 …………… 14 外国人 …… 1  
外国人 …………… 1 聖心の布教姉妹会 邦人 …… 35  
神言会員 邦人 …………… 5 オタワ愛徳修道女会 邦人 …… 3  
外国人 …………… 8 聖クララ会 邦人 …… 11  
フランススコ会員 邦人(修道士含む) …… 5 聖マリア在俗会 邦人 …… 9  
イエズス・マリアの聖心会員  
邦人 …………… 1  
外国人(神学生含む) …… 2  
他教区から派遣司祭 邦人 …… 2  
外国人 …… 1  
教 区 神 学 生 …………… 1

3. 事 業

小教区教会 …………… 30 教育事業  
分教会・巡回教会 …………… 5 幼稚園 …………… 25  
集会所 …………… 2 園児数 …………… 2,468  
女子修道院(在俗会含む) …… 7 女子中学校 …………… 1  
生徒数 …………… 81  
社会福祉事業 女子高等学校 …………… 2  
老人ホーム …………… 5 生徒数 …………… 768  
宿泊を伴う利用者数 …… 272 女子短期大学 …………… 2  
その他の老人福祉事業 …… 10 学生数 …………… 537  
宿泊を伴う利用者数 …… 124 児童福祉事業  
宿泊を伴わない(年間のべ人数) …… 41,916 保育園 …………… 7  
その他の福祉事業 …………… 4 園児数(年間のべ人数) …… 369,788  
宿泊を伴う利用者数 …… 49 その他の児童福祉事業 …… 10  
宿泊を伴わない(年間のべ人数) …… 3,253 宿泊を伴う利用者数 …… 180  
宿泊を伴わない(年間のべ人数) …… 27,026

4. 移 動

転入 転出 死亡 …………… 97  
教区内 …………… 7 …………… 10  
教区外 …………… 21 …………… 26  
その他 …………… 0 …………… 42

# 2017年度 東日本大震災復興支援活動状況

2011年3月11日の東日本大震災発生から、今年3月で7年が経過しました。被災地では、災害(復興)公営住宅の建設が進み、仮設住宅が順次閉鎖、被災者の方々もそれぞれ新たな生活を始めつつあります。一方で、2018年3月末日を以て被災者に対する公的支援が打ち切られ、個々の生活再建には大きな課題が残されているのが実需です。

ご存知のように、日本のカトリック教会は、震災発生直後から仙台教区の平賀徹夫司教を主体とし、全国の教会を挙げて被災者を支援する体制を、震災発生から10年となる2021年3月まで継続することを決めています。「10年目」が視野に入ってきたこの時期、長崎教会管区の活動拠点であった大槌ベース、さいたま教区の活動拠点であったサポートステーション「もみの木」(いわき市)の閉鎖、宮古ベースの地元への移管など、将来を見据えた動きが見えてきています。

新潟教区にあっては、教区の地理的条件を考慮し、新潟にセンターを設けず、秋田、山形、新発田、新潟、長岡の各地区で可能な支援を迅速に行うようお願いしてきました。このたびも2017年度に教区内各教会がどのように被災地支援を行ったかをお聞きしました。今回は教会、修道院等に加えて、教区内に4校あるカトリック学校にもご協力をお願いし、ご報告をいただきました。活動状況の取り組みを相互に知ることによって今後の支援活動の参

考にしていただければ幸いです。

## 支援活動の概況

2017年度については、カトリック学校2、小教区11(教区で独自に把握したものを含む)、奉獻生活の会1、その他の団体3の計17団体についてご報告をいただきました。地区別では、秋田地区2、山形地区1、新発田地区3、新潟地区10、長岡地区2となっており、教区内のすべての地区で支援活動が実施されたことを示しています。

全般的な傾向としては、祈りや献金・寄付などが多くなっています。被災地訪問や現地ボランティアの報告もありました。支援先については、被災地の実情にかなりがみ福島県関連が多くなっています。

2017年度の支援活動について、地区ごとに別表1～6に示します。

## 個別の活動状況

カトリック学校にあっては、被災地とのかかわりが教育活動の一環として年間計画の中に組み込まれており、活発な活動が行われています。とりわけ秋田聖霊短期大学付属高等学校にあっては、遠距離にもかかわらず福島県南相馬市での支援活動や研修などを行っています。

山形地区では、福島第1原子力発電所周辺各市町村の避難指示が一部を除き順次解除されていることに伴い、山形市などに避難していた方々で地元に戻られる方が増えているとことです。この地域で支援活動を

続けてきた「きらきら星ネット」では、山形市での避難者支援活動を終了し、米沢で継続しているとのことです。

新潟地区での特記事項として、新潟地区信徒使徒職協議会が2017年度秋の信徒大会として、また新潟カトリック女性の会が日本カトリック女性団体連盟(日カ連)第43回仙台総会への参加として、それぞれ被災地訪問を実施したことが報告されています。

長岡地区の高田教会では、支援方法の見直しを行い、被災地産の農水産物販売による支援を終了し、祈りと献金による支援を中心としていることがうかがわれます。このほかにも、報告はされませんでした。が支援活動をしている小教区やグループ等があるのかと思えます。ご協力に感謝いたします。

## 2018年度に向けて

司教団は2016年12月臨時司教総会で、日本の教会が全体として東日本大震災の復興支援に当たる体制を、2021年3月まで継続することを決定しました。

東日本大震災から7年が経過し、前述の通り、ベースの閉鎖・地元への移管といった動きがある一方で、福島県にあっては先の見えない状況が続いています。

引き続き、祈りと共に被災地支援活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

なお支援活動にあたっては、教区担当者にもご一報いただければ幸いです。

## 【連絡先】

新潟司教館 気付 町田 正神父  
ファックス: 025122217467  
電子メール: nig-cur@ecav.homenep.jp

別表1 カトリック学校

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
聖霊女子短期大学 付属高等学校	教育活動	随時	・宗教科特別授業の実施 ・その他教科の授業を通してのアプローチ	
	祈りと献金	5月16日	・全校生と教職員による献金 ・ミサの共同祈願	
		7月18日	・聖霊祭(学園祭)での模擬店収入の一部その他献金	
		12月16日	・クリスマス会 祈りと献金	
	チャリティー コンサート	7月1日	・ハンドベル部コンサート	・会場: 小高区浮舟文化会館ホール ・主催: おだかぶらっとほーむ ・協力: カリタス南相馬
		10月21日	・カトリック秋田教会チャリティーコンサート 「原発事故から6年半 福島を忘れない」	・ハンドベル部、吹奏楽部出演 ・聖母会による特別企画展示と献金箱の設置
被災地訪問、 現地ボランティア	年6回	・教職員被災地視察研修(全教職員が6つのグループに分かれて福島原発事故被災地を視察研修)	・貸切バス(修道会負担)利用 ・カリタス南相馬と周辺ホテル宿泊 ・カリタス南相馬のスタッフによる案内 ・被災者の方の話を聴く ・カリタス南相馬で屋外活動、被災地視察を体験。	
	7/26~28、 8/9~11	・聖母会復興支援ボランティア	・高1、高3の全部員が参加	
新潟清心女子中 学・高等学校	寄付・献金		・清心祭(文化祭)におけるチャリティーコーナーの販売利益を、カリタスジャパンを通じて寄付。 ・クリスマスの奉仕活動における街頭募金で集まった金額の半額を、カリタスジャパンを通じて寄付。	

## 別表2 秋田地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
秋田教会	寄付・献金	10月21日	・カトリック秋田教会チャリティーコンサート「原発事故から6年半、福島を忘れない」	・収益はCTVCへ

## 別表3 山形地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
山形教会	寄付・献金	毎月	・NPO法人「福島やさい畑」の運営費支援のために毎月第2日曜日に募金活動	

## 別表4 新発田地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
三条・加茂教会	祈り	主日ミサ後	・「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を全員で継続して祈り続けている。	・その他の災害や事故、事件などで苦しむ人々のことも思い起こし、連帯の意識を持つようにする。
新津教会	交流		・新発田地区信徒大会の折に二本松から講師を招いてお話を伺った。	・講師：柳沼千賀子さん（二本松教会信徒会長）

## 別表5 新潟地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
青山教会	福島県産品販売	10/1(日)	・バザーで果物、加工農産物を中心とした「福島やさい畑～復興プロジェクト」からの委託販売	
亀田教会	祈り	各主日	・東日本大震災被災者のための祈り	
	福島県産品販売	10/1(日)	・教会バザーでのNPO法人「福島やさい畑」からの委託販売。	
白根教会	祈り 福島県産品販売		・ミサのときに祈る。 ・バザーで、「福島やさい畑～復興プロジェクト」の商品を扱い販売した。	
寺尾教会	寄付		・恒例のバザーの収益の一部をカトリック東京ボランティアセンターに送金。	残り25%は福岡教区へ寄付
		随時	・年に一回、嗜好品を共同購入し、その利益の一部をカトリック東京ボランティアセンターへ送金。	
	祈り	各主日	・ミサの派遣の祝福の前に「東日本大震災被災者のための祈り」を一同で唱えている。	
新潟教会	啓発	常時	・仙台教区八木山教会ニュースレター設置、復興ニュースコーナーを継続。	・前年より継続
	寄付	11/12(日) 9時半ミサ後 12/3(日) 英語ミサ後	・バザーを行い、収益金をカリタス南相馬内の「真ごころ」と「八木山オリーブの会」(亙理教会支援)へ送金。	
		各主日	・ミサ後に談話室で手づくりスイーツを販売	・信徒有志「東大畑茶寮」の活動。
		復活祭、クリスマス	・上越聖クララ会修道院よりクッキーを仕入れ販売。	・収益はカリタスジャパンを通じて東日本大震災復興支援へ。
	活動支援	年間	・綿の花を苗から育てて摘み、復興支援活動をしている「亀田縮み援隊」(教会外)に届ける活動を継続	・信徒有志の活動、2012年より継続
花園教会	祈り	主日	・主日ミサ後に「東日本大震災被災者のための祈りⅡ」を参列者一同で祈っている。	
	水産物購入		・被災地経由で秋刀魚を購入	個人
	活動支援		・福島県在住の児童の保養を支援	個人
新潟地区信徒使徒職協議会	被災地訪問	10/8(日)～10/9(月)	・秋の新潟地区信徒大会として「3.11から7年目の福島訪問」を実施(司祭を含め28名参加)	
新潟カトリック女性の会	被災地訪問		・日本カトリック女性団体連盟第43回仙台総会に5名参加。 ①被災地視察と分かち合い ②講演：「絆」神の愛を共に生きる (講師：平賀徹夫司教様)	・日本カトリック女性団体連盟主催
新潟からし種の会	献金	年間	・NPO法人「福島やさい畑～復興プロジェクト」の活動支援(一口500円)	会員数37名 (内訳) 新潟 25 寺尾 8 青山 3 教会外 1  (2016年12月現在)

## 別表6 長岡地区

活動主体	区分	実施日	活動内容	備考
高田教会	祈りと献金	5月	・墓地ミサでの祈りと献金	
		10月	・献茶会での祈りと献金	
聖マリア在俗会	物品支援	年2回	・「大熊町自閉症児親の会スマイル」に夏には清涼飲料水、クリスマスごろには果物を贈っている。	
	祈り		・「東日本大震災被災者のための祈り」を祈っている。	